

投薬量管理支援システム

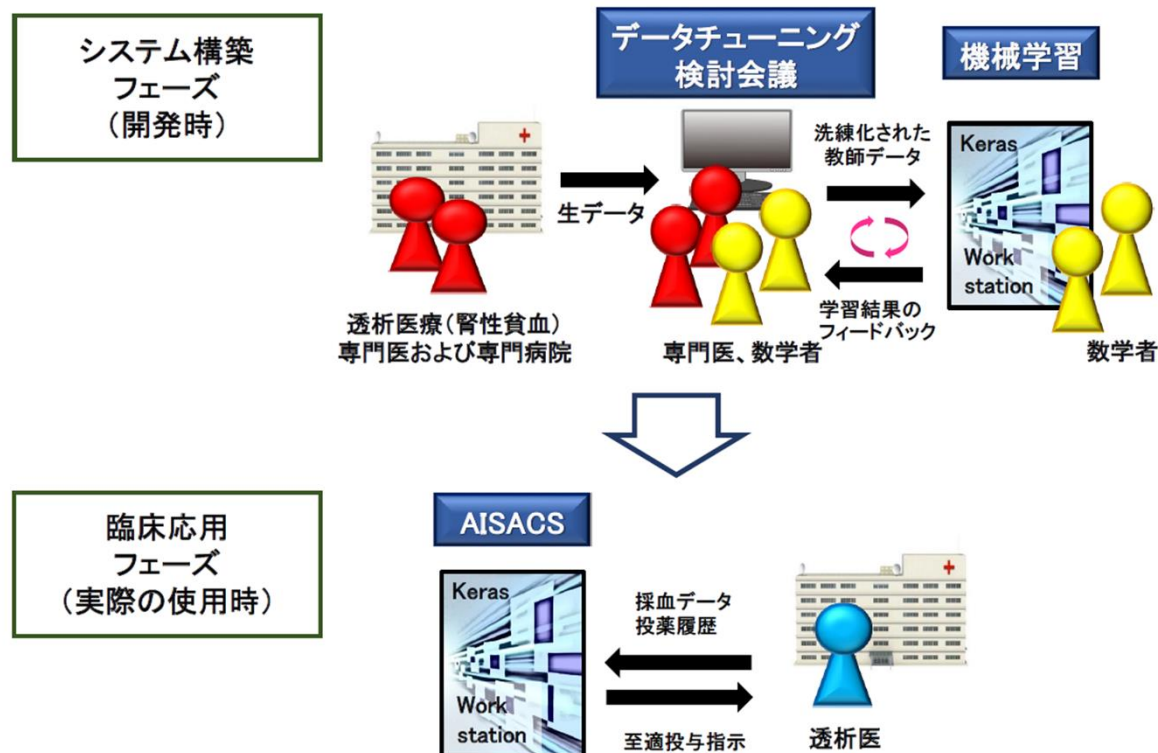
～AIを用いた透析管理システムの開発～

発明のポイント

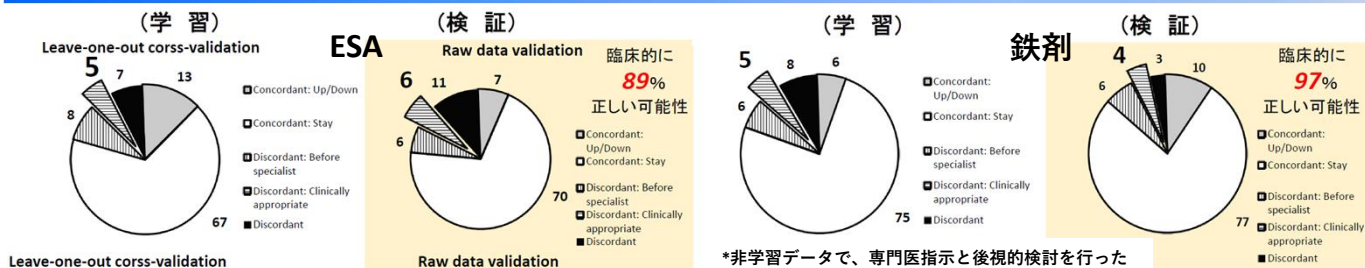
- 生体反応の予測からではなく、医師の投薬を学ぶ視点を導入する事で、機械学習をシンプルにすることに成功した
- 教師データの洗練化（tuning）を行うことで、非ビッグデータでも効率的な機械学習が可能となった
- 推奨投薬指示を数値予測ではなく、「増」、「維持」、「減」の3値にすることで、高精度に解答可能となった。

発明の概要：新投薬管理システム「AISACS」の特徴

*AISACS: Artificial intelligence support anemia control system



AISACSは高い正答率を示した*



想定される用途

- 電子カルテや透析コンソールに搭載することで、透析時の投薬管理の補助を行う
- 腎性貧血の適切な管理、薬剤費の削減、病院収益の改善、医師の負担軽減に貢献

発明者：

大原 利章（岡山大学）
水藤 寛（東北大学）
杉谷 宜紀（東北大学）

ライセンス可能な特許

発明の名称：投薬量管理支援システム
特許公開番号：特願2019-009333
連絡先：JST知的財産マネジメント推進部 ライセンス担当
電話） 03-5214-8486
メール） license@jst.go.jp
URL） www.jst.go.jp/chizai/

